

砂川市立病院南館の開院にあたって

病院長 小熊 豊

昨年 10 月 28 日新病院本館が開院し、飛躍的にレベルアップした医療体制を整えることができました。

今年は同じ 10 月 28 日に南館が開院し、「こころの医療センター」として精神科医療の大幅な充実と健診センターの設置、院内保育所の開設、院内諸施設の整備などが図られることになりました。

中空知医療圏のセンター病院として、良質の高度医療、全人的医療を目指す当院にとりまして、この新医療システムの完成・稼動は、地域住民の皆様の生命と健康を守る使命を果たすうえで、また医療従事者のモチベーションを高めるうえで極めて大きな役割を発揮し、未来へとつながる連がる地域医療の要としての機能を果すものと期待しています。

南館は病院建設費の圧縮、既存施設の有効活用の意味から、旧病院の新館部分を増築・改修致しました。その為本館のように免震構造ではなく補強耐震構造となっており、本館に比べて天井が低く、入り組んだ造りになっていることは否めません。しかし、必要な機能は十分に確保され、従前に比べアメニティーの高い構造となっており、皆様のご期待に沿うものと考えています。

認知症センターとして、また集中治療室を備えた質の高い精神科医療施設として整備されており、職員や研修する学生さんにとっても魅力ある環境になっています。

このような大規模な増築・改修工事が無事完了できましたのも、関係各位のご理解、ご協力と、患者さん、地域住民の皆様のご支援の賜物と、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

「良質の医療、心かよう安心と信頼の医療を提供する病院」、「地域に根ざし、地域に愛され、貢献する病院」という当院の病院理念の実践になお一層、努力する所存でございます。皆様のあたたかいご支援をひき続きお願い致しまして、ご挨拶にかえさせていただきます。



こころの医療センター開院

精神科 医師 内海 久美子

H23年10月27日より南館3~5階に、こころの医療センターがオープンします。こころの医療センターという名称に変更し、誰もが心のケアを受けやすい環境づくりをめざします。

こころの健康(メンタルヘルス)はいまや国民の最大関心事であり、厚生労働省は本年、4大疾病であるがん・脳卒中・心臓病・糖尿に加えて、新たに精神疾患を入れ5大疾病とし、予防対策に乗り出しました。この背景には、うつ病や認知症の増加があります。

そこでこれまでの病棟機能に加え、新たにうつ病などの方々が快適に療養できるストレスケア病棟と、認知症などの高齢者専用の病棟を新設しました。

ストレスケア病棟

近年ストレス社会と言われ、心身ともに疲れ果てうつ病になる方が多くなっています。日常を離れ、ゆっくり快適な環境の中で療養できる病棟となっています。

高齢者専門病棟の開設

平成16年「もの忘れ専門外来」を開設して認知症医療に取り組んできた結果、H22年に北海道の認知症疾患医療センター(モデル事業)に指定されました。新病棟では高齢者の専用病棟を設置し、身体合併症や周辺症状のために入院治療が

必要となった認知症高齢者が安心して医療が受けられる環境を提供できるようになりました。

こころのケアに向けた精神科リハビリテーション！

5 階は、新たな作業療法フロアになります。ここでは作業療法とデイケアを行います。陶芸・工芸室、調理室、喫茶室、軽スポーツ室なども完備され、クラフト、スポーツ、調理、年間行事など様々なプログラムを通じ、楽しみながら「いきいきとした生活」を送って頂くためのリハビリテーションを行います。

健診センター開院にともなって

健診科 医師 吉田 美佳

新病院開院から1年、新病院南館1階に旧健診室を刷新し、新健診センターが開設される運びとなりました。

新健診センターでは、健診受診者専用の入り口を設置し、予約・受付・会計などの業務を健診センターで一本化して行います。当面の間は、各種X線検査、乳がん・子宮がん検診等は、本館で受けていただくこととなりますが、皆様には今まで以上に大変ご利用しやすいものとなっていると思います。

当健診センターでは、人間ドック・生活習慣病予防健診・特定健診等の健診の他、各種助成金のある健診や、いわゆるクーポン健診についても幅広く行っております。乳がん・子宮がん検診の他、脳ドック・PET検診も受け付けております。各種オプション検査のご用意、人間ドック・脳ドックを同時に受けられる方への料金設定もごさいます。

健診・検診について、何かございましたらお気軽に御相談いただければと存じます。